

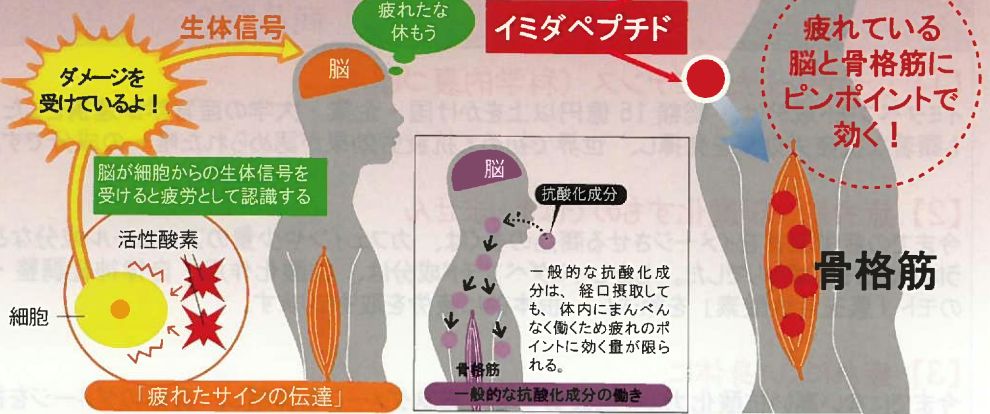
# 疲れを解消するには、どんな成分を摂るべき？

## イミダペプチドとは・・・

イミダペプチドは、抗疲労効果が注目を集めるアミノ酸結合体で、人間をはじめ、魚類、鳥類を含めた動物の筋肉に含まれています。特に渡り鳥の筋肉などに多く含まれている成分です。

## 抗疲労成分イミダペプチド (FR) はココが違う！

どんな有用な物質も、経口摂取で効果が出るとは限りません。生理効果がきちんと認められた物質でも、ヒトが経口摂取した場合、効果を発揮しないものも多数あります。その点、イミダペプチドは、消化吸収の過程で2つのアミノ酸に分解され、身体の中で再び合成されるという特徴があります。しかも、ヒトでは筋肉や脳細胞など、消耗の激しい部位に、イミダペプチド合成酵素が豊富にあるので、酸素消費が多く発生する部位において、ピンポイントでイミダペプチドが再合成され、効果を発揮します。これが、他の抗酸化食品と比べて、イミダペプチドの抗酸化作用が優れている理由なのです。

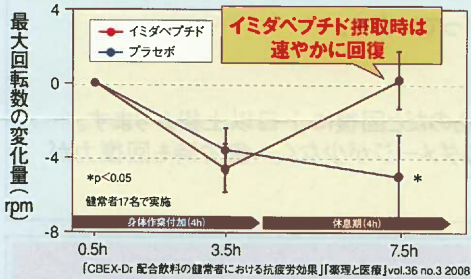


2008年国際疲労学会で発表された「FF (Fatigue Factor)」というタンパク質をご存知ですか？この物質は私たちがストレスを感じた時に身体の細胞が傷つき、その結果生まれた老廃物で、疲労の原因物質。FFが発生すると脳に伝わり、身体を休ませようというアラームを発します。「疲れた」というあの気だるい感覚は、このFFが正体なのです。

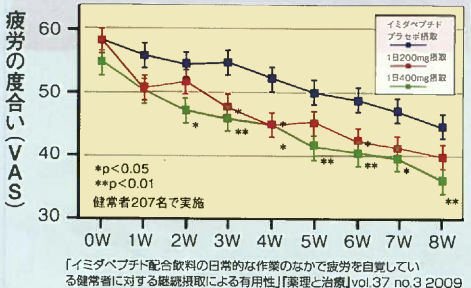
FFは疲れを感じさせるだけでなく増殖すると細胞の機能を低下させます。すると、免疫力が落ちて病気にかりやすい身体に。また、自律神経にも影響を及ぼします。

イミダペプチド (FR) はFFを減少させる作用があることが判明しました。また、FFによって傷つけられた細胞を修復する「FR」というタンパク質を増やす作用もあります。疲労を取り除き、疲労回復物質「FR」を増やすというダブルパワーで、疲れを根本から解消。疲れのたまりやすい脳や骨格筋にピンポイントで働きます。

## イミダペプチドの摂取により、仕事の疲労からの回復が促進されました。



## イミダペプチドは摂取2週間目より、日常生活の疲労感を顕著に軽減しました。



## 参考資料

NHKニュース  
2011年1月3日(月)  
20時16分

イミダペプチドの最大の特徴は、脳内の自律神経の中枢でも抗疲労効果を発揮することだといふ。人間の脳と主な骨格筋には、イミダペプチドを合成する酵素が豊富にある。食べ物から摂取したイミダペプチドはいったん体内でアミノ酸に分解されるが、脳内に元々ある酵素によって再合成され、最も消耗の激しい自律神経の中枢で抗酸化力を発揮し、疲労を抑制する。

東京慈恵会医科大学と大阪市立大学の共同研究グループは、疲労からの回復を促す物質を探するため、さまざまなタンパク質を腎臓の細胞に入れて、反応を確かめる実験を繰り返しました。すると、FRというタンパク質を入れたときに、細胞の中で疲れの原因とされる物質が減ることが分かりました。その結果、アミノ酸を摂取した場合は、全員の疲労の回復が早まったことから、研究グループでは、FRは疲労からの回復を促すタンパク質だと結論づけています。このタンパク質は、疲れに応じて全身の細胞で働くということで、研究グループの近藤一博教授は「疲労の度合いを客観的に測定する指標になると期待される。簡単な疲労測定法の開発につなげたい」と話しています。



## 睡眠障害の改善にも期待

慢性的な疲労を感じている人は、同時に睡眠障害で悩んでいることが多いようです。疲労の原因物質である「FF」が自律神経のバランスを乱すので、睡眠障害をもたらしやすいのです。また、過度の疲労が自律神経の働きを妨げ不眠をもたらす、不眠が更に疲労を促進させるといった、悪循環に陥ることもあります。

イミダペプチドは「FF」を取り除き、疲労回復物質「FR」を増やし自律神経の働きを助けます。そのため、睡眠障害の改善にも効果が期待できます。これらの中心としたイミダペプチドの幅広い作用は、TVや雑誌をはじめ、マスコミでも頻繁に取り上げられています。

## 認知症の改善にも期待

2014年に「イミダペプチドには、記憶に関する脳部位の萎縮を抑制し、神経心理機能を改善する作用がある可能性がある」という研究成果が発表され、『2014年農林水産研究結果成果10大トピックス』にも選ばれました。さらに、その研究を踏まえ、2015年に高齢者ボランティアによるヒト臨床試験を実施。その結果、イミダペプチドを摂取した高齢者グループの言語記憶が著しく良くなったことが確認されました。これらの結果から、イミダペプチドを摂取することが、アルツハイマー型認知症の初期段階において、進行を予防もしくは改善させる可能性が期待されています。



# ご提案書

メーカー名	日本予防医薬株式会社（総医研ホールディングス 100%）【東証マザーズ：2385】 〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町 1-4-2 千里ライフサイエンスセンター 16 階 TEL. 06-6831-3383 FAX. 06-6831-3363
案件	イミダペプチド ソフトカプセル 84 粒

## 商品紹介

### 【1】しっかりとしたエビデンス（科学的裏づけ）

イミダペプチド成分は、総額 15 億円以上をかけた国・企業・大学の産官学が連携をした『抗疲労食薬開発プロジェクト』で、最も顕著な抗疲労効果を発揮し、世界で初めて抗疲労効果が認められた唯一の成分です。

### 【2】疲労感を誤魔化すものではありません

今までの疲労回復をイメージさせる商品の多くは、カフェインや少量のアルコール成分などで疲労感を消して、一時的に効いたようにさせるものばかりでした。しかしイミダペプチド成分は、抗酸化作用・自律神経調整・PH 緩衝作用のトリプル作用で、疲れのもと「悪玉活性酸素」を除去し、根本的に疲労を取り去ります。

### 【3】疲れにくい身体に

今までにない高い抗酸化力（＝抗疲労）で、細胞ダメージを抑制し、身体のダメージを抑えて疲れにくい身体にします。

### 【4】精神の過度な疲れ、自律神経の調整作用

イミダペプチド成分には、肉体疲労だけではなく自律神経の乱れを抑制するエビデンスがあります。乱れがちな自律神経へのダメージも抑制し、身体がリラックスし、睡眠の質を改善し、熟睡感が得られます！

### 【5】アルツハイマー型認知症にも

2016 年の最新論文で、イミダペプチド成分を摂取した高齢者において、著しい言語記憶の改善効果が認められ、アルツハイマー型認知症の予防、改善効果が期待できることが発表されました。

### 【6】PH緩衝作用

筋肉痛やこむら返りといった筋肉トラブルが改善されるという報告が実体験も含め多数上がっています。

### 【7】継続的な摂取で高い回復力も身につきます

細胞がダメージを受けると組織だけでなく、身体全体がダメージを受け、その傷は大きいものと回復に 1 日以上掛かります。しかし、イミダペプチドを継続的に摂取することで、疲れにくい身体になるため、細胞へのダメージが少なく、疲労時も回復力が高くなります。

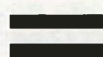
- ◎携帯に便利！いつでもイミダペプチドが摂れます。
- ◎寝る前にお飲みいただいても眠りを妨げません。
- ◎自律神経の乱れを抑制するエビデンスを持っています。
- ◎睡眠の質を改善し熟睡感が得られます。
- ◎カプセルだから、低カロリーで味も気になりません。



ソフトカプセル4粒でドリンク 1 本と同じ量のイミダペプチド成分（200mg）を摂取できます。



イミダペプチド成分は  
同じ



ソフトカプセルは  
1 回に4錠  
お飲みください

#### 【有効成分・用法用量・効能・効果】

<栄養成分表示> 4錠(1880mg)中

エネルギー	10.3Kcal
たんぱく質	0.89g
脂質	0.62g
炭水化物	0.30g
ナトリウム	4.38mg

イミダゾールジペプチド200mg  
(イミダペプチド成分)

#### <価格>

21日分(1回×4粒) 84粒入 5,250円(税込)

#### <用法・用量>

1日4粒、または8粒をお水またはお湯などと一緒にお飲みください。

#### <原材料>

イミダゾールジペプチド含有鶏肉抽出物、食用油脂、ゼラチン、グリセリン、ミツロウ、グリセリン脂肪酸エステル、着色料（二酸化チタン、カラメル）、植物レシチン(大豆由来)